



道又秀悦議員

## 発展計画

# 順調に進んでいるか

## 景気低迷を受け遅れている

### 質問 第七次総合発展計画の事業の取り組みも、国の「改革断行予算」による「三位一体の改革」の影響

で過去に経験したことがない厳しい財政状況では、今後の事業の進行状況が懸念される。については、次の点を問う。

①第七次発展計画の事業実施達成率の見込みは。

②最終年度（平成十七年）の予算額はどのくらいになるか。

### 沼崎町長

①平成十三年度からスタートした第七次総合発展計画は平成十三年度、十四年度は順調だったが、平成十五年度から国の「三位一体改革」による地方交付税、補助金などの削減



第7次発展計画の達成見込みは、交付税・補助金などの削減で88%と見込まれています（大沢漁港漁業集落環境整備事業から）

## 町の考えを聞く

### 産業振興

## 農産物直販などへの支援を

## 町の産業活性化願ひ支援

減による影響が大きく、事業の見直しを継続的に実施している状況である。

厳しい財政状況下であり、今後どのように推移していくのか予測が難しいが、平成十七年度末で八七・七%と見込んでいる。

②第七次総合発展計画の予算額は百四十六億六千七百円円の計上であるが、最終予算額は、百三十億円ぐらいになるのではと考えている。

### 質問

荒川農産物加工組合、豊間根地区産直販売組合、白石中山間地域等直接支払協定組合、船越地区の花と緑の地域づくり協議会など、それぞれの地域で創意工夫に満ちた取り組みが出てきた。これらの組合などへの育成強化策をどう考えているか。

### 沼崎町長

景気の低迷が続く中、町内の農産物直売が元気のあることは、ご承知のとおりである。

現在、町内で農家が直接、消費者に販売している団体

は、荒川農産物加工組合は3団体であり、これらの団体への町が行った育成支援は、団体が発足した経緯により様々である。

例えば、荒川農産物加工組合の場合には、加工施設を平成十年度県単独補助事業で整備し、昨年度増築の際には自己資金持ち出し分の利子相当分の半額を助成した。

今後も町の産業を活性化するための育成指導が必要な団体には継続支援していきたい。